



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和7年11月号

美しい心



教育目標
人間性豊かで
たくましい子

秋が深まってきました。校庭の木々の葉は少しずつ色が変わってきていることに気付いている人も多いことでしょう。

ところで、みなさんが美しいなあと思うものは何ですか。いろんな花や葉っぱ、夕焼けや星など目に見えるものでしょうか。

学校の図書館に『花さき山』という本があります。あやという女の子が、山菜（さんさい）をとりに入った山で、道にまよい、山奥の花いっぱい場所で山姥（やまんば）に出会う場面があります。その山姥（やまんば）が、あやに次のように話します。

「…この花は、ふもとの村のにんげんが、やさしいことをひとつするとひとつさく。あや、おまえのあしもとにさいている赤い花、それはおまえがきのうさかせた花だ。きのう、いもうとのそよが、

『おらサもみんなのようにまつりの赤いべべかってけれ』
って、足をドダバダしてないっておっかあをこまらせ
たとき、おまえはいったべ、『おっかあ、おらはいらねえ
から、そよサかってやれ』…」(『花さき山』(岩波書店)より)



(湊小学校 学校図書館・図書)

自分の気持ちをおさえてだれかにゆずったり何かをしてあげようとする心は、とても美しいなあ、この本を読むたびに思います。相手を思いやることは、その代わりに何かをしてほしいと思うものではありません。「その人がこまっている様子を見ると自分も悲しい気持ちになる」、「みんなで笑顔でいるとうれしい」といった気持ちがあると、自分は我慢（がまん）して自然にゆずったり温かい声をかけたりすることができるのだと思います。そしてそのことは、自分は気付かなくてもまわりのだれかがきくと見ていて、「すてきな人だなあ」と思ってくれたり、どこかで不思議できれいな花をさかせたりしているのかもしれない。

みなさんのまわりにも、目には見えないきれいな花をさかせている人がいませんか？もしかしたら、昨日、自分がきれいな花をさかせたかもしれないと思っている人もいるでしょう。湊小学校の一人ひとりが、毎日きれいな花をさかせているから、今日もみんなが元気にすごしているのでしょうね。

保護者の皆様へ

【「子育て講演会」のご参加について】

毎年11月20日は、国連が制定した「世界子どもの日」です。子どもの権利条約が採択されたこの日を中心に、子どもの人権について考えるイベント等が各地で行われます。

本校では、11月21日(金) 参観授業後、「子育て講演会」として、保護者と教員とが一緒に考え、思いを共有していただくために、講師先生をお招きし、講演会を予定しています。詳細は、別紙にてご案内いたしますので、ぜひ、ご参加ください。よろしくお願いいたします。